

Web 日報を活用して職場の対話を活性化させる

メンタル・ケア・マネジメントシステム

SPIS 入門・活用セミナー in 東京



競輪の補助事業

2018 年 4 月から義務化された精神障害者（含・発達障害者）の雇用では、就労継続への課題が指摘されており、雇用企業も支援機関もその支援に大きなエネルギーを注いでいます。v foster ではこの数年、就労支援システム「SPIS」の普及活動を進めて参りましたが、この「SPIS」が提供する支援アプローチには 2 つの大きな特徴があります。1 つ目は、本人の困りごとや課題に着目したチェック項目を本人主体で設定し、その自己評価の記録を蓄積する事。2 つ目は、評価記録と併せてオンラインや直接の対面を通じて、本人と関係者間で対話を深めることです。そして、この 2 つのプロセスの継続が本人の就労安定の鍵となります。本講座ではこのアプローチに対する理解を深めて参ります。

2019 年 5 月 25 日(土)10:00~17:00 (9 時 40 分 受付開始)

会場：人事労務会館 中会議室

定員：24 名 講師：一般社団法人 SPIS 研究所

参加費：企業 1 万円、支援機関 7 千円

対象：SPIS 導入（予定）の企業、支援機関のご担当者

プログラム (プログラムの内容は変更される場合があります)

時間	プログラム
受付開始 (10:00 ~)	
10:00-10:10	開会あいさつ NPO 法人 全国精神保健職親会 専務理事/事務局長 保坂 幸司
10:10-11:50 (100 分)	「SPIS の仕組みと特徴」 Session 1 開発目的から導入効果や特徴を説明します。
昼食 休憩 (11:50 - 12:50)	
12:50-14:50 (120 分)	事例 研究 <ul style="list-style-type: none">●「支援機関活用例」 SPIS を活用した事例の報告 報告：就労継続支援事業 B 型 ホープ大和 施設長 吉野 敏博●「企業活用例」 SPIS を活用した事例の報告 報告：株式会社 テクノイケガミ 取締役 蒲谷 幸利●質疑、意見交換等（ご参加者からの質疑応答）
小休憩	
15:00-16:20 (80 分)	「当事者との関係を作る」 Session 2 当事者からの発信にどうコメントし関係を作っていくか。グループワーク形式で学習します。
小休憩	
16:30-17:00	閉会あいさつ 「SPIS に期待すること」 有限会社 奥進システム 代表取締役 奥脇 学

(既に SPIS 導入されている場合は午後からの参加も可能です。)

会場案内 人事労務会館

住所：東京都品川区大崎 2-4-3

TEL. 03-5434-2266

■JR 山手線・埼京線・湘南新宿ライン、りんかい線

「大崎駅」北改札・西出口より徒歩 3 分

■東急池上線「大崎広小路」より徒歩 7 分

※駐車場はございません。

公共の交通機関をご利用ください。



SPiS

精神障害者の就労継続支援雇用管理サポートシステム

「不調の兆候のキャッチ」「タイミングを捉えた適切な配慮」「支援機関との情報共有・連携」



SPiS は、精神障害・発達障害に特化した就労移行支援事業を展開する JSN が訓練記録用に平成 21 年から使用していたシステムを基に、有限会社先進システムの協力の下で企業の方にも使いやすいよう改良を加え、平成 23 年に開発された就労定着支援システムです。

本事業は公益財団法人 JKA から競輪公益資金の提供を受けて実施されます



参加申込書

(※この面をそのままご送信ください。)

代金をお振込みの上、下記まで FAX またはメールでお申し込みください。
※振込手数料はご本人様負担でお願いいたします。

申込先： vfoster 宛 Fax: **03-5778-4138** Mail: event@vfoster.org

問合せ Tel: 03-5778-4134「JSN 全(じょん)」

振込先： 三井住友銀行 本八幡支店 普通 4024875 NPO 法人 全国精神保健職親会

申込締切日： 2019 年 5 月 20 日 (月)

申込日： 2019 年 月 日

ご所属:	
フリガナ	
参加者:	
ご住所:〒	
Tel:	Fax:
E-mail:	※入金確認後、メールにて参加証を送付いたしますので、必ずご記入ください。
振込人名義:	領収書宛名 (必要な方):

- ・お預かりした個人情報は本セミナー管理のみに使用し、その他の目的では一切使用いたしません。
- ・座席等について配慮が必要な方は事前にご連絡ください。